

小学校 第6学年 外国語科 学習指導案

東京都板橋区立上板橋第四小学校
主任教諭 曾根原 加果

単元名 Lesson 1 Let's be friends. (7時間)

単元のねらい

互いのことをよく知り合うために、自己紹介をし、好きなこと、できることなどについて具体的な情報を聞き取ったり、伝え合ったり、話したりすることができる。また、自己紹介に関する例文を参考にして文を書いたり、例を見ながら、教科名を書き写したりすることができる。

本時のねらい

自分の好きなものやできることなどを伝える表現を聞き、思い出す。(第2時)

指導時期

4月～5月頃

指導者用デジタル教科書(教材)活用の意図・目的

リスニング活動では、音声やそこで使われている表現をただ聞くだけでは、その後の言語活動につながりをもたせることが難しい。聞くことと話すことを一体的に指導していくことで、児童自身が自らの事柄について表現するときに「使ってみよう」と思う、生きた表現となる。そのため、リスニングの際には、まずはイラスト等から、どのような表現が使われているのか予想し、聞き取りたい表現についてイメージをもち、目的をもって音声を聞き取ることが大切だと考える。「指導者用デジタル教科書(教材)」では、クラス全体で何度も聞くことが可能である。どのような表現が聞き取れたのか、これからどのような表現が使われそうなのか、クラスで学び合いながらリスニングを行うことで、より本時のねらいに迫ることができる。

本時(第2時)の展開

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
導入	<ul style="list-style-type: none"> 「指導者用デジタル教科書(教材)」の初期画面を開いてコンテンツを起動する。 <p>1 Greetings</p> <ul style="list-style-type: none"> HRTとあいさつ、日付、天気等のやり取りをする。 <p>2 Today's Goal</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元のねらいと本時のねらいを確認する。 	 <ul style="list-style-type: none"> 学習支援ソフト等で共有した単元のねらいを確認し、本時のねらい(目標)を児童と共に決める。
<p>互いのことをもっと知るために、好きなものやできることなどを伝える表現を確認しよう。</p>		

3 Let's Listen 1

- 1 問目を聞く。

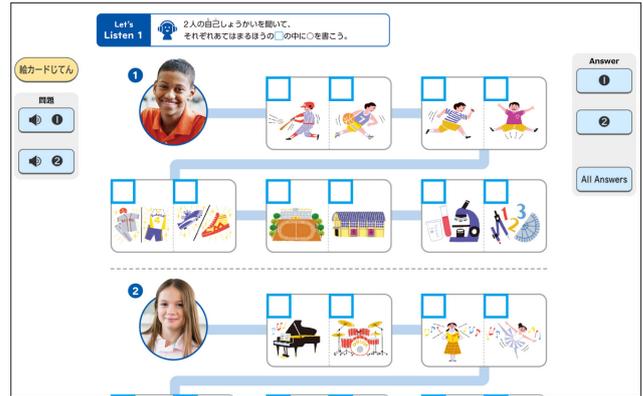
- 聞き取れた表現や語彙を確認する。

- 2 問目に取り組む。

- 聞き取れた表現や語彙を確認する。

- 1 問目と 2 問目で使われていた語彙や表現の中から選択し、自分自身のことをペアで紹介し合う。

(教科書 12 ページ)



- イラストを見て、イラストが表す語彙を確認してから、音声を聞くようにする。

- 聞き取れている児童と聞き取ることが難しい児童がいることが想定される場合は途中で一時停止し、どのような表現や語彙が聞き取れたか確認しながら、スモールステップでリスニングを行うことも考えられる。

- 2 問目に取り組む前に、1 問目と同様にイラストが表す語彙を確認し、その語彙を使って「もし〇〇だったら」と、どのような文が考えられるか、予想させる。

- 難しい表現の場合は、その部分のみ、再度「指導者用デジタル教科書（教材）」を活用し、聞かせる。

- 聞き取った語彙や表現を用いて、すぐに言語活動を行うことにより、本単元で習得した語彙や表現の理解を図る。



- イラストの語彙を練習したい場合は、「絵カードじてん」を活用する。

展開

【リスニングの場面において効果的な活用の仕方】

児童のリスニングの能力は、個人差が大きい。そのため、クラス全体で聞き取る際には、途中で止めながら、聞き取ることができた語彙や表現を確認して実施することが大切であると考えている。クラス全体で学び合うことで、表現の理解を深めていくことができる。「指導者用デジタル教科書(教材)」は何度でも聞くことができ、途中で止めたり、意図した部分から聞いたりすることができる。さらに、聞き取った表現を用いて、すぐに児童自身が自分のことについて表現する際にも活用ができる。そのようなメリットを活かしながら、児童のリスニングの力を高めていきたい。

【継続していくことで見られる変化】

リスニングを行う際に、どのような語彙やどのような表現が用いられているか、問いかけながら問題に取り組んでいくと、児童自身がリスニングの前に予想し、理解を深めることができるようになっていく。また、聞くことへの理解が深まると、言語活動において語彙や表現が増えていくように感じている。リスニングをする際には、児童に聞き取る目的をもたせることが大切である。